公認会計士法友会

公認会計士法友会会報

第34号
令和5年8月発行

令和4年度定期総会に関するお知らせ

令和4年度の定期総会を以下の日時で開催いたします。
令和5年9月6日(水) 16:40 受付開始 / 17:00 定期総会 / 17:20 会員研修会 / 18:30 懇親会 / 20:00 解散
(場所)法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階「会議室A」
(会員研修会)
演題:『士業による企業の社外役員(社外監査役、社外取締役)の実務対応と勘どころ』(仮題)
講師:公認会計士 和食克雄 氏(公認会計士法友会 顧問、法政士業の会 会長)

目次

会長挨拶 2
会費等納入の御礼 3
雑感 4
令和4年度公認会計士試験合格者の近況 6
令和4年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告 7
編集後記 8

同封物:会報、郵便口座振替用紙

公認会計士法友会会報

会長挨拶

会長　太田荘一（昭和52年卒）

盛夏の候、公認会計士法友会の会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと存じます。

この3年余りの間、コロナ禍で思うような活動ができない情況にもかかわらず、本年度も全国の会員の皆様から、会費と寄付金のご芳志を賜り、誠にありがとうございます。会員各位の多大なるご支援に本当に感謝に堪えません。

おかげ様をもちまして、法政大学の内外における公認会計士法友会のプレゼンスを何とか維持できているのも、会員の皆様方のご賛同とご協力の賜物であると、役員一同を代表いたしまして、深く感謝申し上げます。

法友会の目的である『会員の相互交流・親睦を深めるとともに、母校の発展と後進の育成に貢献する』に基づき、新しい若い世代の会員への橋渡し役になるべく、河西事務局長はじめ、役員諸氏の精力的なご対応と協力を受けながら、なんとか会長を務めさせていただいております。引き続き、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、なにとぞお願い申し上げます。

この5月の新型コロナの5類移行により、やっと対面での会合等の交流が可能となってまいりましたが、引き続き感染には十分注意しながら、会員の皆様との交流の機会を企画しているところであります。会員諸氏におかれましては、今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今回も、この半年間の法友会活動についてのご報告と、今後の方針についても述べさせていただきたいと思います。

【令和4年度公認会計士試験の合格状況と合格祝賀会の開催について】

令和5年1月に令和4年度の公認会計士試験の最終合格者の詳細が確定し、今回の法政大学からの合格者は、28名（現役学生21名、卒業生7名）ということで、前年度より特に現役学生の合格者数は（前年度の13名から）大幅に増加しましたが、全国大学ランキングは、残念ながら、前年度と同じ第14位ということで、令和2年度までのトップ10には入れませんでした。しかしながら、毎年、現役学生は年を追う毎に相当数の合格者を輩出し、かつ増加傾向にあるのは、指導にあたられた先生方や高度会計人育成センターの関係者のご尽力と合格者の皆さんの努力の賜物かと思います。今後益々の合格者の増加を期待して、来年度以降は再びトップ10入りを目指していただきたいと思います。

令和4年度公認会計士試験合格祝賀会は、令和5年1月に3年振りに対面で開催することができました。（詳細報告は、後掲報告記事ご参照。）時節柄、着席方式ではありましたが、合格者の就職内定先の先輩会員方と同じテーブルで大いにお祝いと親睦を図られたものと思います。

令和4年度公認会計士試験　出身大学別合格者数(トップ10)

1位（1）	慶応義塾大学	187（178）	5位（ 6）	立命館大学	54（49）
2位（2）	早稲田大学	109（126）	7位（ 8）	神戸大学	50（38）
3位（3）	明治大学	86（72）	8位（ 8）	京都大学	47（41）
4位（5）	東京大学	57（58）	9位（13）	同志社大学	44（28）
5位（4）	中央大学	54（65）	10位（10）	一橋大学	38（35）
			14位（14）	**法政大学**	**28（25）**

（ ）は前年度順位及び人数
他大学の人数は日本公認会計士協会提供データを基に当会にて調査

【8年間の振り返りと今後の活動方針について】

さて本年度は、定期会員総会を9月に開催することにしましたので、この機会に、この8年間の会務を振り返り、活動目標に対する実績と未達となっている事項、今後の活動方針についても私見を述べさせていただきます。

＜活動目標1＞会員の相互交流と親睦を深める

・毎年度の会員定期総会と合格祝賀会を開催しました。（令和元年度～3年度まではコロナで開催中止）
・今年の合格祝賀会には、多くの若手会員にも参加いただきました。今後もより多くの若手会員の参加を促進するための施策を企画していきたいと思います。

＜活動目標2＞母校の発展に貢献する

・法政大学の実務家教育に資する活動に注力しました。
経営学部公開寄附講座「会社実務実践論」の開講（通算4期、会員による担当授業講師各期15名）
大学院経営学研究科会計専攻ワークショップ（2期開講）への会員による客員講師派遣（各期7名）と講師料相当分の大学への寄付
・法政大学校友会活動へ参画しました。

一般社団法人『法政大学校友会』は、法政大学の発展に寄与することを目的に、「法政のネットワーク創り」と「全ての世代が集い繋がる」、校友が一体となった活力ある組織を形成し、母校・卒業生・社会への貢献を目指して活動しております。公認会計士法友会は、終身正会員登録を拡大（平成27年80名目標達成、令和3年120名目標達成）し、2023年3月末現在の終身登録正会員数126名で、校友会に代表議員3名、理事1名、監事1名を送り出す有力なパートナー組織となっております。

＜活動目標3＞後進の育成を支援する（法政大学出

身の合格者増大のための諸施策への支援）

法友会「奨学支援金」制度を継続して運用。毎年、高度会計人育成センターが主催する学内簿記チャンピオン大会成績優秀者に受給資格証を付与し、短答式受験を条件に使途を専門学校の受講費充当に限定して5万円を給付するもの。

2016年度給付2名（うち、論文式合格者2名）
2017年度給付5名（うち、論文式合格者5名）
2018年度給付5名（うち、論文式合格者3名）
2019年度給付4名（うち、論文式合格者2名）
2020年度給付2名（うち、論文式合格者1名）
2021年度給付6名（うち、論文式合格者4名）
2022年度給付4名（うち、論文式合格者－名）

ということで、受給した学生の合格者数及び合格率は着実に高い結果が出ています。

法友会としては、これを継続し、さらに充実したものにしていきたいと考えております。このための原資として会員の皆様方からのご寄付浄財が不可欠でありますので、なにとぞご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

高度会計人育成センターと今後も協力して、受験生の拡大及び合格者増加のための諸施策を支援していきたいと思います。

付属校の高校生への公認会計士の職業紹介や試験合格への啓蒙活動の推進

・公認会計士試験合格者数上位の大学は、付属校と大学との連携により、高校生のうちから公認会計士試験合格のための教育課程や職業啓蒙活動が進んでいると聞いております。法政大学においては、現在、法政高校（旧一高）では、高2・高3の正規の選択授業「簿記・アカウンティング」受講者が毎年増加しており、大学進学後の合格者も増加していると伺っていますので、これらの好例を他の付属校にも拡充することを推進し、当会においては、公認会計士の職業の魅力を啓蒙する活動を拡充したいと考えています。

・これらの活動が近い将来、後進の会員がそれぞれの得意専門分野や出身高校毎に対応できるよう、そのレールを敷設することが現役員体制の使命と考えます。

【大学の近況報告】

さて、今年の法政大学の学位授与式と入学式は、十分な感染防止対策をしたうえで、3月と4月にそれぞれ日本武道館に於いて挙行されました。締めの校歌斉唱とエールは、マスクをしてではありますが、全員で大きな声で謳うことができました。「フレー！フレー！法政、がんばれー！がんばれー！卒業生と新入生」と。

会計士業界も企業の人的資本に関する開示やサステナビリティ経営の統合報告に帯する監査等、難しい課題がありますが、この逆境を好機にして、法政大学からさらに多くの公認会計士を輩出し、将来のある若い皆さんが活き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやることはたくさんあります。

【最後に】

昨今、経済界は人手不足で学生の売手市場の状況が継続しており、公認会計士試験受験を目指す学生も思ったようには増えませんが、今年も28名の試験合格者が輩出され、当法友会にも多くの新しい仲間が増えました。

これまでトップ10の位置を維持してきた諸先輩方の功績に応えるためにも、また、今後も法政の学生からより多くの公認会計士を輩出するためにも、さらに、将来のある若い皆さんが活き活きとして集い結べる業界・魅力ある士業となるよう、法友会としてもまだまだやるべきことはたくさんあります。

今年度の定期総会は、4年振りに対面で2023年9月6日（水）に開催することといたしました。

毎年参加されていました会員諸氏におかれましては勿論、しばらくご無沙汰しております会員の皆様にも是非ともご参集をいただき、「法政、我が母校♪」と声高らかに校歌をご一緒しましょう。

「フレー！！フレー！！法政、 ガンバレ！！ガンバレ！！法友会」

以上

会費等納入の御礼

令和4年度（2023年3月31日まで）に会費・寄付等を頂いた方は以下の通りです。皆様、どうもありがとうございました。

（50音順、敬称略）

赤岩　茂	渥美　龍彦	新井　良明	飯塚　昇	五十嵐　正明	池田　雅人	石川　亜依	石川　正敏	石出　康子
伊藤　章子	稲垣　大輔	井上　健太郎	井上　倫哉	梅村　一彦	江口　俊弘	海老澤　弘毅	遠藤 大輔	太田　荘一
太田　眞晴	大野　厚夫	大谷　はるみ	岡本　裕二	奥　朋	小倉　加奈子	越智　一成	小野　隆良	尾町　雅文
柿沼　幸二	各務　浩司	金子　祐大	神谷　佑樹	河合　三彦	川崎　定昭	河西　正之	岸野　勝	北村　敏雄
木下　恵嗣	君和田　和子	草深　文理	倉持　直樹	黒田　學	桑原　正信	神田　忠二郎	古田土　満	小堀　良典
坂本 昂志	佐竹　健二	佐藤　康平	佐藤　志郎	佐藤　直	佐藤　廣昭	篠原　可奈	柴田　匡司	島田　幸樹
杉本　喜代美	鈴木　和郎	鈴木　一宏	鈴木　雄飛	髙橋　和司	瀧本 祐和	竹澤　隆国	武田　知紀	竹部　直一郎
竹村　謙一	舘内　宏宣	田中　創	堤　研一	東海林　寛史	遠山　景一	富樫　健一	豊島　忠夫	永田　郷
中村　元紀	中山　理恵子	那須　玄	西澤　利雄	新部　敏行	春山　直輝	藤田　利弘	藤原　明	本間　寛
前田　大輔	前田　将朗	牧野　智成	三浦　太	森口　輝来	安井　洸治	矢田堀　浩明	矢部　豊	山本　成男
吉川　清司	吉田　実貴人	和食　克雄						

雑感（職場紹介シリーズ）

監査法人トーマツチーム

皆さん、こんにちは。
2000年４月卒の佐竹です。今回は私を含むトーマツで働くメンバーで、これまでの経緯や今の職場の紹介などをしたいと思います。
まずは、私の簡単に自己紹介をさせて頂きます。
2000年４月に経営学部経営学科を卒業後、監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）の国内監査部門に入社・配属となりました。その後、国内の法定監査を中心に、IPOや審査部門への異動をしつつも、いわゆる普通の監査人としての会計士人生を歩んできましたが、そんな私が今所属するのは、トーマツの監査のデリバリーセンターです。

【働き方改革を進める監査デリバリーセンター】
「デリバリーセンターって何？」という方もいるかもしれません。トーマツでは、会計士の働き方改革と多様な働き手の創出のため、2018年12月に千葉県千葉市に監査のデリバリーセンターを開所しました。私は開所の翌年・2019年の9月からこのセンターの運営に携わっています。
皆さん一般的に「働き方改革達成のために必要なことって何？」って言われてどのようなことをイメージしますか？業務を効率化するための「AI化」や「DX化」？恐らく新聞や雑誌でもそのようなワードを目にすることも多いと思います。
そのようなイメージはもちろん今の環境を変え未来に向かって進化する方向として間違いないと思います。一方で、昔ながらの監査から一足飛びに、AI化やDX化が実現された監査を実施するところまではまだ至っていないと思います。それは、多くの監査現場では、「AI化」や「DX化」のための障害がまだあるからだと思っています。
それは、監査の標準化です。

AIやデジタル技術も進歩していますが、あまたある監査の証拠をいきなりすべて理解して処理することは難しいです。そのための第一歩として、作業自体の標準化や調書フォーマットの標準化により、学習する箇所や処理する箇所が明確になり、AI化やDX化を進めることが可能になってきます。

トーマツのデリバリーセンターでは、その標準化を進めるべく、監査現場に多くある標準化可能（多くの場合は単純作業と言ってもいいと思います。）な領域の業務を、会計士以外の人材に参画してもらい、会計士とともに働いてもらっています。

【多様な人材との関わり】
この原稿を書いているタイミングで、すでに500名を超えるメンバーがこのセンターに参画し、働いています。

多くは、職場周辺に住む方であり、第二新卒や産休育休明けの主婦も多く働いており、女性比率が約95%です。会計士も子育てしながら時短勤務などフレキシブルな働き方をする人が多くいます。監査現場とは異なる働き方がここにはあります。
会計士も私のように所内の異動でセンターに来た人もいれば、他の大手法人から移ってくれた方も多くいらっしゃいます。他所の話も色々聞くことができて楽しいです。

また、センター運営のために、会計士以外の専門職も数多く参画してくれています。
ITインフラのためデリバリーセンター専用のIT人材や、一般事業会社でコールセンターや物流センターの立ち上げや管理、工程管理をしていた人材など、多くの人材が参画し、協力しながら仕事をしています。
監査法人の中でも。全く違う業界から来た方たちと一緒に仕事をすることも、非常に刺激的です。

中には、私が趣味で続けていたソフトテニスで全日本チャンピオンになった人がいて休日に一緒にテニスを楽しむようになったり、外資系IT企業から転職してきた人が実は学部は異なるものの法政大学の同期であることが判明し、かつての55年館/58年館、62年館といった古い校舎で学んだことを懐かし飲みながら話したり、会計士に限らず多くの人との関わりの中で、人間関係が広がっていく楽しさを感じながら楽しく働いています！

とりとめのない話で恐縮でしたが、執筆の機会を頂きありがとうございました。

＜今の職場を見上げる写真と職場から東京湾（とその奥には富士山も！）を一望するお気に入りの一枚＞

では、私の話は以上にして、続いて同期の小山くんにバトンを渡したいと思います。

【ご挨拶】
佐竹くん、バトン受け止めました。法友会の皆様、こんにちは。佐竹くんと同様に2020年3月経営学部経営学科卒業の小山です。現在デロイトトーマツ税理士法人において国内外のM＆A及び国際税務のサポートを行う部門におります。私は、監査法人系で働いている割には、比較的色々な経験を積んでいる気がしましたのでその辺りの経歴をざっくばらんに振り返りたいと思います。

【経歴】
【監査から税務へ】
私も大学卒業して最初は監査法人（トーマツ）へ就職し、国内監査部門におりました。そんな私が何故今は税務業務に従事しているかと申しますと、きっかけは3年目くらいからだったと思いますが、税金勘定の監査手続きを行う中で税金に興味を持ち始めた頃に上場会社の子会社監査の主任業務で税金関連の質問をクライアントから受けることが多くなり、これは一度真面目に税金に取り組んだ方が良いなと思ったことでした。税理法人への出向制度があったので、面接を得て2年間の出向生活が始まったのですが、当時から税理士法人には公認会計士出身者が比較的多く、また日本でM＆Aが活発化し始めた頃でしたので、M＆A税務を中心に行う部門から勧誘を受けて2年後には転籍をしました。転籍後1年過ぎた頃には、M＆Aをもっと全体的に理解したくなり、又、折角であれば他ファームでも経験を積んでみたいということで、トーマツ以外のFAS（M＆Aトランザクション全体のサポートを行うチーム）へ転職しました。ところが、転職後しばらくするとリーマンショックの影響でM＆Aそのものの数が減少し、自らが描いたプランを変更する必要が生じどうしようかなと考えていた際に、デロイトオーストラリアのシドニー事務所で日系企業に対する税務サポートができる日本人を探していると古巣のトーマツから連絡を受けました。当時英語環境で仕事することなどほとんどなかった私ですが（当然英語も一般的な日本人の枠の範囲でした）、その後の上司となるオーストラリア人が来日した際にカジュアルな面談を持ちました。手振りを踏まえて拙い英語で会話を行い特段その際は何もなくフレンドリーな形で終わりましたが、その後はたまに連絡を取るくらいでしたが、約1年くらい後に、日本の景気とFAS業務での行き詰まり感じた私は決心して再度オーストラリア人に連絡を取ると、とりあえず飛行機代を出すからシドニーに来い、その際に正式な面接をするからと言われ、渡豪してみるとその後は比較的トントン拍子にオファーレターをもらい、4年契約で国際的な転職をしました（別ファームにいたので、駐在等ではなく現地採用となります）。

【豪州時代】
豪州では、法人税務のサポート部のラインにマネジャーで入ったので、現地スタッフが作成した申告書をレビューする役割でしたので、当初1年目は非常に辛い環境でしたが、辞書、現地税法の条文とMaster Tax guide、夜のBarでのローカルスタッフとの実践英会話を通して、2年目には運よく昇進もでき、さすがラッキーカントリーだと実感したのを記憶しています。豪州では営業をBD（Business Development）というのですが、その一方でBeer drinkという意味もあり、上司のオーストラリア人や仲間達と連日BDを行い、週末はBBQやラグビー場なので過ごした日々は今も貴重な財産となっています。その後豪州の所得税の税制改正があり、外国人であることの税制メリットがなくなったタイミングで日本に戻る決断しました。

【再び税理士法人へ】
豪州にいた際にも、日本の税理士法人と一緒に仕事する機会があったので、帰国することになった話をすると、新たに海外M＆A及び国際税務専門の部署を立ち上げるので、一緒にやってみませんかというお声がけを頂き、再び現職の税理士法人で働くことになりました。
4年ほど海外税務中心で業務を行い、その後は国内M＆Aチームと統合した結果、今は国内海外問わず、M＆A税務を中心とする形で日系企業をサポートしている状況です。北米、アジア、ヨーロッパ、日本と色々な案件が同時並行で動いているので、時間の感覚がズレてくるのが難ではありますが、その分やりがいがある仕事だと思います。

【最後に】
公認会計士を目指した時は、監査法人で働きつづけるのかなと思っていたのですが、振り返ってみると監査法人での勤務経験が一番少なくなり、M＆A関連の業務が多く、当初の予定とはまったく違うな思いつつもバックグランドは会計士という気持ちは今でも変わりません。この度は、執筆の機会を頂きありがとうございました。
最後にやっと綺麗なオフィスとなった職場ビルからの眺めを！

令和4年度公認会計士試験合格者の近況

合格者の近況を報告していただくコーナーです。

●鵜飼颯大（令和5年卒）

＜ご挨拶＞

法友会の皆様、初めまして。昨年度に経営学部市場経営学科を卒業しました鵜飼颯大（うがい そうた）と申します。4月より晴れて社会人となりまして、社会の波に揉まれておりますが、仕事の話は後ほど…。

この度はこのような機会をいただけましたこと、大変光栄でございます。今後も多々お世話になろうかと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

＜会計士試験について＞

私は昨年に行われました公認会計士論文式試験に合格しましたが、合格までには大学生活の大半の時間をかけました。高校からの先輩が公認会計士試験の勉強をしていたこともあり、HAPPの簿記講座を通じて公認会計士試験の勉強を始めました。何気ない気持ちでHAPPの簿記講座を始めた点はよかったですが、会計士試験がこんなにも大変だとは想像以上でした。結果的には論文式試験を3回目まで受験し、やっと会計士試験を合格できました。会計士試験では、逆算思考や継続する大切さ等々試験内容に直接関係しないことも学ぶことができよかったです。

＜現在の仕事について＞

私は大学を卒業し、監査法人アヴァンティアと某コンサルスタートアップ会社にてキャリアをスタートいたしました。3回目の論文式試験の受験後、縁あって某コンサル会社の立ち上げを手伝わせていただくこととなりました。この会社はガバナンスを中心とするコンサルティング会社です。もちろんコンサルをする力はありませんので、経理関係やアシスタント業務等をメインにやらせていただいております。この会社は著名な方々が日本の株式市場を変えたいという強い気持ちで設立された会社です。そのため、多くの方が50～60代。初めは何もわかりませんし、緊張や不安でいっぱいでしたが、学ぶことは大変多くありました。

そんな中で会計士試験に合格していることがわかり、就職についてどうするかを真剣に悩むこととなりました。元々は論文式試験に合格した際には、監査法人に就職することを決めていました。そうはいってもコンサル会社のスピード感のある成長に楽しみを感じており、次第にどちらも続けることができないかと考えるようになりました。

しかし、社会人1年目の論文式試験合格者が監査法人と一般事業会社の兼業をしている例を私は聞いたことがありませんでしたので、できる方法を探すところから始めました。そこで見つかったのがアヴァンティアです。初めはアヴァンティアという法人は聞いたことがありませんでしたが、私の知っている監査法人のイメージを変えるような組織のつくりや考えに心を惹かれました。アヴァンティアは私の兼業をしたいという気持ちを受け入れ、応援してくれました。

なんてことがあり、現在監査法人アヴァンティアとコンサル会社で働きながら自由に仕事を行っております。選択と集中なんて言葉もありますが、やりたいことをやらなければ後悔しそうですから、まずはやってみようの精神です。本当にこのような選択を取れるのは会計士試験に合格できたからなので、公認会計士のブランドを築いてきた諸先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。

＜プライベートについて＞

最近はもっぱら映画や海外ドラマにはまっております。勉強時代にもアメリカの長編ドラマにはまり勉強時間が確保できなかったことは、今では良い思い出です…。現在は休みの時間を見つけてはネットフリックスを開いて視聴するようになっており、その中でもゴッドファーザーに驚きました。実はゴッドファーザーは通学生の頃にも視聴したことがありますが、23歳になって改めて見ると全く別の作品だと感じました。皆様もぜひ視聴済みの作品を見直してみてはいかがでしょうか。新たなとらえ方があり面白いかもしれません。

また、大学時代からお付き合いをしておりました女性と6月に結婚をいたしました。試験合格ができたのは本当にたくさんの方々の支えがあったからではありますが、一番支えてくれたのは彼女でした（お弁当を作ってくれたり、つらい時に励ましてくれたりと）。そして8月には子供が生まれる予定です。試験勉強時代には、自分はなんてつまらない人生を送っているのだろうかと思うこともありましたが、無事に試験に合格でき、現在幸せに過ごせており本当に良かったと思います。

＜おわりに＞

法友会の皆様、先般は合格祝賀会にお招きいただき誠にありがとうございました。まだまだ未熟者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

令和4年度公認会計士試験合格祝賀会開催報告

事務局より

令和4年1月28日に、3年ぶりに公認会計士試験合格祝賀会をアルカディア市ヶ谷で開催いたしました。新型コロナの影響がまだ少なからずありましたので、着席スタイルとし、参加人数を絞っての開催となりました。

合格者16名、来賓7名、会員38名、合計61名の参加でした。着席スタイルで話が弾むか懸念されましたが、あちこちで盛り上がっており、よかったと思います。

太田荘一会長の挨拶に始まり、法政大学 廣瀬克哉 総長、日本公認会計士協会 鶴田光夫副会長から、ご祝辞を賜りました。今まで支えてくださった方がへの感謝の念を忘れずに、思いを裏切らないようにし、OB会や補習所などのネットワーキングを大事にしてほしいということを合格者に向けたメッセージとして伝えていました。

太田荘一会長　廣瀬克哉 総長　鶴田光夫副会長

次に、法政大学後援会の鯨岡光男会長から「法政大学後援会賞」の授与(左)、法政大学校友会の竹中宣雄会長から「法政大学校友会賞」の授与(真ん中)が行われました。そして、高度会計人育成センターの岸牧人副センター長の乾杯の挨拶(右)で懇談が始まりました。

しばらく歓談が続いたのち、公認会計士法友会から合格記念品贈呈を行い(左)、合格者を代表して鵜飼颯大さんから挨拶をいただきました(真ん中)。中締めは、和食克雄顧問にお願いいたしました(右)。

今回は、会場の関係で応援団の演武を行うことができませんでした。次年度はボアソナード・タワーのスカイホールで、応援団に演武をお願いしたいと思います。

公認会計士法友会

公認会計士法友会事務局
〒169-0074
東京都新宿区北新宿4-19-15

E-mail：hosei.hoyukai@gmail.com

母校の発展と後進育成への貢献を
目指して活動しています。

6月末現在の会員数 786名

ホームページもご覧下さい。
http://hoyukai.la.coocan.jp/

編集後記

この号がお手元に届く頃には、少しは涼しくなっているとよいのですが。とにかく、酷暑が続いていますので、熱中症にはきをつけましょう。

3年ぶりの合格祝賀会が開催できて、よかったと思います。ただ、規模を縮小しての開催でしたので、次回は通常どおりに実施をしたいと考えています。

こちらも3年ぶりでしょうか。定期総会、会員研修会、懇親会を対面で開催します。ぜひ、出席いただければと思います。

（4月ごろのボアソナード・タワー）

今後のイベント予定
皆さん、ご予定ください。
・法友会定期総会、会員研修会、懇親会　令和5年（2023年）9月6日（水）
・公認会計士試験合格祝賀会　令和6年（2024年）1月27日（土）

● 法政士業の会よりお願い
法政大学校友会では、卒業生等が経営している（関係している）お店を「法政オレンジMAP」にて紹介しています。しかし、士業の方の登録がほとんどありません。
ぜひ、登録いただければと思います。下記URLの法政オレンジマップのサイトから店舗情報入力フォーム へ進んでください。
https://hoseinet.or.jp/orangemap/

令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）年度会費及び寄付金のご協力のお願い

法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金で賄われておりますが、合格祝賀会などの行事開催費、通信費などの運営諸経費、友好他大学会計士会団体への参加費等の支出、また最近では、法政大学の公認会計士試験現役受験生の合格を支援する「奨学支援金」の原資として経常的な資金が必要であり、会員各位のご理解とご協力なくしては、持続的な活動が出来ません。

最近、会費及び寄付金を納めていただける方が固定化し、また、減少傾向にあります。一方、会員の増加で定期総会や合格祝賀会のご案内にかかる通信費の増大や「奨学支援金」の拡充等も必要となっております。会員の皆様の、ご理解とご協力を強くお願いする次第です。

今年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）会費の納入と寄付金のお願いをさせていただきたく、郵便振替口座振込用紙を同封させていただきました。

毎年の年度会費及び年度寄付金に、いったいいくら納入すればよいのか分からないなどのご意見・質問が寄せられます。法友会活動は会員の皆様からの会費及び寄付金の納入で支えられていますが、皆様に大きな負担を感じさせるのは本意ではありません。あくまでも会員の皆様のご厚意にお願いするものであります。

年度会費を納入されていない方につきましては、年度会費の5,000円だけでも結構ですし、年度寄付金・奨学支援金等の寄付金として10,000円（一口）だけを納入していただいても結構です。

もし、ご賛同をいただけるのであれば、年度会費と寄付金を合わせて15,000円を納入していただければ、大変、助かります。

振込先を記入した郵便振替口座用紙を同封させていただきましたが、銀行振込をされる場合は下記の口座にお願いいたします。

銀行口座　三菱UFJ銀行　東中野支店(店番152)
普通預金・口座番号　1559256　口座名・公認会計士法友会
＜連絡先＞　〒169-0074　東京都新宿区北新宿4－19－15　正和ハイツ
公認会計士法友会事務局
080-8886-0375 / hosei.hoyukai@gmail.com

Books!

書籍の出版情報を事務局までお寄せください。会報に掲載いたします。その際に、執筆者からの一言(書籍の宣伝でもOK)も併せてお願いいたします。

※書籍寄贈中止のお願い
会計大学院（イノベーション・マネジメント研究科アカウンティング専攻）の廃止に伴い、書籍を開架しておく場所が無くなってしまいました。新しい場所が見つかるまで、書籍の受入は中止させていただきたく、お願いいたします。この場合でも、出版情報は引き続き掲載したいと思いますので、お寄せいただきますよう、お願いいたします。